



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
 事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
 TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
 会長:寺井正昭 幹事:成松重人 会報委員長:田中弘

2013年1月22日 第1074回例会(第1073号)

本日の例会

今週の歌 「日も風も星も」

卓話 「今年の景気」

田中弘 会員

次回例会のお知らせ(1月29日)

卓話 「笑いヨガ」

ヨガ講師 長岡るみ子様

(新井会員紹介)

前回(1月15日)例会記録

会長の時間 寺井会長

新年明けましておめでとうございます。皆さん、良い年をお迎えになったことと思います。もう、1月も半ばとなりましたが、本日は、本年初めての例会となります、今年1年よろしくお願いたします。

今年は巳年であります。最近、都会ではあまりヘビを見かけなくなりましたが、蛇の抜け殻を財布に入れておくと、財布のお金が出て行かないとかよく言われました。ヘビは財運の神様とも言われており、昨年末から年初にかけて株価が上昇するなど景気が良くなりそうな期待感が出てきております。今年が皆さんにとって良い年になることを祈っております。

また、1月は『ロータリー理解推進月間』となっております。これは会員にロータリーについての知識と理解を一層深めてもらうとともに、ロータリアン以外の方々にもロータリーの事をよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間で、1988年の1月から始まりました。

ロータリーとは何かと聞かれて、その答えはロータリアンの数だけあるとよく言われます。しかし、

出席報告 堀田委員

【1月15日】
 在籍会員 36名(内出席規定適用免除者 10名)
 出席会員 30名(内出席規定適用免除者 8名)
 ホームクラブ出席率 88.24%

12月4日のMUを含む出席率 94.12%

ロータリアンの言動の指針は『四つのテスト』とか、『ロータリーの綱領』にまとめられております。私も、年の初めに当たりロータリーの理解にさらに目を向けたいと思っております。

また1月27日はロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日に当たります。毎年この日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈る『追悼記念週間』とされております。

今年度もすでに半分を経過いたしました。2月のIM第2組のインターシティミーティング、4月のGSEハンブルグチームの受け入れ、5月の世界平和フォーラム広島、6月の台北龍門RCへの訪問等の行事が残っております。皆様のご協力の程よろしくお願いたします。

幹事報告 成松幹事

第2回職業奉仕委員長会議のご案内

日時: 3月9日(土)14:00~17:00

場所: OMMビル2-3号室

北山委員長よろしくお願いたします。

アンケートの回答は1月31日迄にお願いたします。

関西大学RAC例会出席担当
 Bグループ 橋本、大井、西村、田畑、飛田、
 和田、吉野各会員

1月28日(月)

会場: 関西大学千里山キャンパス
 中央体育館 図書資料室

時間: 19:00~20:00

5月17日～18日開催の「2013ロータリー世界平和フォーラム広島」の案内を回覧します。ご都合をお知らせください。

GSEチーム受入、ホームステイを寺井会長がお引受け頂きました。皆様には何かとご協力をお願いすると思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

ニコニコ箱

東 会員 寺井会長・成松幹事残り6ヵ月がんばって下さい。

延 会員 おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

今 村 会員 新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。

栢 本 会員 今年もどうぞよろしくお祈り致します。

木 元 会員 明けましておめでとうございます。本年も宜しくお祈りします。

北 山 会員 本年も宜しく。

長 島 会員 今年もよろしくお祈りします。

西 本 会員 人生の墓場に足を踏み入れて本日で25年です。花束ありがとうございます。

西 村 会員 新年あけましておめでとうございます。

西 山 会員 本年もよろしくお祈り申し上げます。

庄 瀬 会員 おめでとうございます。今年もよろしく。

寺 井 会員 「あけおめ、ことよろ」でお祈りします。

飛 田 会員 本年も宜しく。

和 田 会員 おめでとう、今年もよろしく。

渡 辺 会員 本年もよろしくお祈りします。

八 橋 会員 本年もよろしくお祈り致します。

本日分 122,000円

累計 862,000円

1月お誕生日

2日 西 山 俊 明 会員

3日 赤 尾 進 会員

10日 延 秀 恵 会員

22日 堀 田 稔 会員

25日 飛 田 昭 男 会員

30日 新 井 性 哲 会員

1月ご夫人お誕生日

5日 北 山 恵 美 様

10日 東 英 子 様

19日 成 松 理 香 様

21日 米 谷 みち子 様

1月結婚記念日

15日 庄 瀬 寛 会員

15日 西 本 健 二 会員

21日 寺 井 正 昭 会員

卓 話

「ロータリーの原点」

長 島 寛 会員

みなさん明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

一昨年秋に開催された地区大会の初日に第2680地区のバスターガバナーであります深川純一先生の講演が行われました。その講演のタイトルが「ロータリーの原点」でありました。従って、本日の卓話のタイトルはこれを借用したものであります。そして私の卓話の前半は深川先生の話を紹介したものであり、後半はこの講演に対する私の感想であります。

先生はロータリーには創立以来3回の危機があったという説から話を始められました。一回目は第一次世界大戦、二回目は世界大恐慌、三回目は第二次世界大戦、そして今、ロータリーの衰退という危機を迎えている。そもそもロータリーの思想は創立以来の22年間で、いろいろな考えが凝縮されて今の大原則になりました。当初の時代は親睦が目的でありましたが、互惠主義 エゴイズムからの脱皮 倫理の芽生え 社会奉仕へと進化して拡大が始まりました。そして創立から22年が経過した1927年に4大奉仕が確立されたのであります。

ロータリーで大切なのは「親睦と奉仕」ですが、この親睦と奉仕の関係は、クラブ内では親睦の心をつくり、お互いに心を通わせ合って、お互いに学び、クラブの外では奉仕の実践をすることあります。更に親睦について考えますと、ロータリーの楽しみとはゴルフやお酒を飲むことではありません。これは親睦についての誤解であります。それらはゴルフをして単にゴルフを楽しんだのであり、お酒を飲んでただ楽しんだだけのことであります。ロータリーを楽しむということは、「例会で出会い、己の至らざるところを知り、他人から学ぶ」のがロータリーの楽しみであります。ゴルフやお酒は、お互いに切磋琢磨して成長するという目的と、奉仕の理

想を達成するためのひとつの手段に過ぎないのであります。私たちは、例会が終わって部屋を出るとき、部屋へ入ったときより少しでも賢くなっているのが本来の姿であります。部屋へ入って仲間の話を聴き、卓話を聴いて成長するからであります。ロータリアンは全てに対して謙虚でなければなりません。自分の国の伝統・文化に誇りを持ち謙虚に頭を垂れ、他国の伝統・文化にも頭を垂れる。これが国際奉仕へと繋がっていきます。そして自分の業界に誇りを持ち他の業界からも学ぶ。これがクラブ奉仕の中核であります。次にクラブ内での人間関係についてですが、クラブの中は全てが公平であり、人の上には人はつくらず、クラブの中では上下はないし、古い新しいも関係がありません。他人の良質な心を学んで身につける。これが切磋琢磨であり、ロータリーが人を育てると言われる所以であります。

最近のロータリー20年間の動向を振り返ってみますと、戦後のアメリカは巨大な力を持ち、ロータリーも巨大な組織になりましたが、それと同時に倫理観は下がり続け、ロータリーは衰退しつつあります。それでは今の衰退しつつあるロータリーを活性化する方法は何でしょうか？ その答えは、ロータリーの拡大と増強を直ちに止めることであります。増強を止めてロータリーの原石を磨き、ロータリーの質を高めることに専念することです。原石とは磨けば宝石になる石であります。道端にころがっている石は、ただの石であります。原石を見つけろロータリーに入れて磨く必要があります。

以上が深川先生の講演の要旨であります。続いて私の感想を述べさせていただきます。

深川先生が「ロータリーを活性化するためには増強を直ちに止めよ」と言われたときは驚きました。これは、真実と言いますが、その通りであるとは思いますが、私の感想としては、最近のロータリーは増強に力を入れすぎて、質の向上があまりにも置き去りにされていることを心配されるあまりの発言であったと推察いたします。要するにできるだけ原石に近い人を探して入れること、そしてクラブ内での切磋琢磨に努めよ、ということを強調されたと思えます。原石の話についてであります。私自身は単なる石ころであり、磨いても宝石にはなりませんが、せめて海岸や川辺にころがっている丸い形をした、すべすべした石になれるよう自己研鑽に励みたいと思っております。

私はロータリーへ入会させていただいて、多くの立派な先輩たちに出会い、勉強をさせていただきました。それらの多くの先輩方の一人ひとりについて

お話することはできませんが、一人だけ実名を挙げて紹介をさせていただきますと、それは米谷会員であります。最近体調が優れず例会を欠席されていますが、米谷会員は博学の人で、みなさんもお存じの通り、幅広くそして深い知識をお持ちの方です。その米谷会員から知識とか学問以外のことで、学ばせていただいた二つのことが印象に残っています。まず、このクラブが創立されて1年目の頃ですが、私が52歳ですから米谷会員は70歳過ぎであったと思います。例会の席に座っておられる米谷会員の席に私が近づき、用事があったとちょっと声をかけたところ、直ぐにさっと立ち上がって「何でしょうか」と言われました。一度ではありません。何時もそうでした。私が「どうぞお座りください」と言うまで直立不動の姿勢です。何と謙虚な方であろうと感服いたしました。また、米谷会員の歩行姿も立派でしたが、席に座っておられる姿がすばらしかった。背筋をまっすぐ伸ばして、時間が経過しても崩れないのです。テーブルに肘をつくことや、足を組まれることも決してありませんでした。何でもないことのように見えますが、私にとっては大きな無言の教えでした。すばらしいと思って私も真似をしようと思っておりますが、これが続かないのです。でもこれからも続けるよう努力をいたします。米谷会員のご健勝を祈念いたします。

